

他のイニシアティブに関するAPEC貿易担当大臣への進捗報告【仮訳】

1. 投資の自由化と円滑化

APECは今後とも投資を促進し、この地域の成長を牽引する鍵となる域内の国境を跨いだ自由な投資の流れを円滑化すべきと考える。投資の原則の中核はAPEC非拘束的投資原則に記されている通りであるが、ABACでは、変化の激しいビジネス環境にも適合したものとなるようこれら原則の改訂を推奨している。内国民待遇と最恵国待遇は、外国人投資家にとって、差別や負荷のない市場アクセスを得るための基本である。投資家にとって、分かりやすく透明性があり予見可能で、中央の法体系とも末端の法の施行の段階とも整合性のとれた投資法が整備されることは重要である。また、透明性があり迅速な投資認可及びライセンス許諾プロセス、並びに時宜にかなった公平なメカニズムによる海外投資関連紛争の解決も、新たな雇用の創出と経済の活性化をもたらす投資を促進する上で、必要不可欠なことである。

2. 規制調和

ABACは、規制調和の推進が政府及び民間企業、そして地域の消費者へも具体的な利益をもたらすと確信している。ABACは今年、APEC-OECDの共同規制チェックリストと経済委員会の規制改革に関するグッドプラクティスガイドを考慮に入れながら、規制調和に関し分野別の提言を作成する予定である。この取組みの目的は、各国・地域が、透明且つ効果的で、実施可能で相互に調和した、リスクと科学的根拠に基づいた規制システムを維持し、国際的なベスト・プラクティスに準拠し、APEC参加国・地域の政府及び関係者の高度な協力を確実なものとする事の価値と重要性を明示することである。

3. 環境物品・サービス

環境物品・サービス(EGS)についての貿易と投資に関する関税・非関税障壁低減に取り組むことにより、エネルギー効率向上や省資源を含むAPECの環境・開発目標に役立つような技術や製品へのアクセスがより容易になる。EGSの市場アクセス強化に加えて、ABACは、グリーン技術の普及促進に向けた市場立脚型のイニシアティブの検討を含むEGS技術の普及促進のために、低エミッション・ゼロエミッション技術の共同研究、利用、開発、移転を促進するような具体的な行動をとるとともに、EGSの貿易と投資のさらなる促進のための運営・資金調達のベスト・プラクティス共有を進めるよう提言する。

4. 食料安全保障

食料は常に入手可能で豊富である事が望まれる、もしそうでないならば、全てのビジネスが損害をこうむる。食料資源の効率的でバランスのとれた活用方法(人間の食料、家畜の飼料、エネルギー用途)の指針の策定が急務である。本件に付きABACは、『フードシステム』手法を採用する事を推奨する。即ち、食料貿易(輸出入両方)の規制を止め、APECの食料安全保障の意思決定において、民間部門に一定の役割を与え制度化する

事である。ABACも、実際上の優先事項が農業生産性の向上と、収穫後の損失防止であるという認識を持っている。ABACは、将来の食料の安全保障を確保するための政策の策定へのビジネス界の関与において先頭に立つ事に強い関心を持っている。そしてビッグスカイで開催される食料の安全保障官民対話において、これらの課題をより詳細に議論したいと期待している。

5. 革新的成長

ABACは、APEC参加国・地域に対し、貿易と経済成長を促進するような市場立脚型かつ非差別的なイノベーション政策を含め、イノベーションの発展を可能とするような環境づくりを通じて成長の新たな分野を創造することを要請する。これは、バランスのとれた知的財産システムの構築、知的財産権に関する協力の強化(すなわち特許協力)、技術選択に関する市場を重視したプロセス、そして国境をまたぐ協力の円滑化・実現を通じたイノベーションを促進し評価応報することによって実現される。ABACは、無関税で取引される通信・技術関連製品の範囲を広げるような情報技術協定(ITA)の拡大を支援する。このイニシアティブは、生産性を向上させ、イノベーションを促進し、経済成長を促進するような製品へのアクセスを向上させる。

6. エネルギー安全保障

ABACは、APEC参加国・地域のエネルギー安全保障の枠組みには、再生可能、あるいは低炭素エネルギー源を活用するプロジェクトに対するより大きな投資を促進するような力強い政策が含まなければならないと信じる。スマートグリッドを含むエネルギー効率化、および低炭素技術に関する標準化の協力は、エネルギー生産性の向上、低炭素エネルギー源の開発、エネルギー効率性の進展、関連製品の貿易障壁の防止のために不可欠である。ABACは、適切かつ長期にわたる域内のエネルギー戦略を策定するためのAPECエネルギー宣言の策定を支持する。

7. 労働力の移動／技能過不足比較

ABACは急速に進行しつつある域内の労働技能の不足とその競争力への影響、そしてその結果として必要となってくる地域間の労働力移動につき憂慮を深めている。この問題に対応するため、ABACでは次の4段階の対処方法を採用する事を決定している。即ち、(APEC)地域全体にわたる技能過不足比較、職業訓練、(技能の)外部調達、そして技能労働の地域間移動に関する通常のベスト・プラクティス手法の採用、である。この対処方法はAPEC人材養成作業部会の原則的支持を得て、現在細部にわたった体系作りが進んでいる。ABACは貿易担当大臣がこのイニシアティブを支持するよう促すものである。

8. 認定事業者 (Authorized Economic Operator — AEO)

AEOのプログラムはここ2年ほど順調に進展している。ABACはAPEC全域を包含するAEOプログラムの秩序だった発展が、相互認証制度の策定を促進させ円滑化させるもの

であり、異なったAEO制度が脈絡なく並存して生じる混乱を避けるために必要であると思量する。ABACはAPEC参加国・地域が諸AEO制度を2つの異なった根本思想により峻別するように提言する。即ち、貿易の安全を迫及するものと、貿易の安全とコンプライアンス双方に軸足を置く2通りである。更に、ABACはAEO制度が存在しない国・地域においてAEO認証制度が開発されるよう提言する。

9. シングルウィンドウ制度

APEC参加国・地域の間でシングルウィンドウを履行しようとする努力は維持されるべきである。ABACはAPEC通関手続小委員会(SCCP)で行われた作業とシングルウィンドウ作業部会(SWWG)が2006年に設立された事を歓迎する。2010年にSWWGが実施したアンケートによれば、13カ国・地域のみがシングルウィンドウ制度を創設しており、5カ国・地域が開発中で、2カ国・地域が税関も含めた全ての貿易関連官庁の諸手続きを包含するシングルウィンドウ制度を持っている。ABACはAPEC全域を包含するシングルウィンドウ制度の採用を促すものである。ABACにはシングルウィンドウの考え方はサプライチェーンコネクティビティ枠組み行動計画の実施を後押しするものであるとの共通した認識がある。

10. 輸送に関する安全基準

ABACは、貿易の安全と円滑化を両立させるためには、国際的に輸送規則の調和を図る事が継続的に必要となる、と主張している。各国・地域の基準は関連国際機関によって設定されているものと整合がとれているべきで、国際的基準が存在しない場合は国際的に調和された規則が設定されるように適切な国際的な枠組みを構築するよう働きかけるべきである。APEC各国・地域はキャパシティ・ビルディングを実施し、本件に関係あるサプライチェーンで活動する企業に対して現存の規則を遵守するように働きかける事で輸送の安全を確保するべきである。

11. 水の安全保障

ABACは、持続的かつあまねく広がる成長にとって、また、急速な人口増や都市化が進む中、域内の貧しい人々の安全な水へのアクセス改善にとって、水の安全保障が非常に重要だと信じる。水の安全保障には多様な側面があることから、ABACでは、都市部における水のマネジメントに関するベスト・プラクティス推進と人材開発に注力し、域内の国・地域にとって何が適用できるかを検討していく。ABACは、APECが水の安全保障により真剣に注意を払うべきだと考えており、今年後半にAPEC首脳宛に意義のある提言をすべく活動していく。